

B&G 財団 WEB マガジンアンドリー VOL.7
『調査隊』ハワイレポート（風岡 歩さん）

ハワイ海岸線調査レポート

風岡 歩

B&G 財団 WEB マガジンアンドリー VOL.7
『調査隊』ハワイレポート（風岡 歩さん）

私は、12月20日から24日のハワイ海岸線調査に参加しました。

1日目。この日は、まず市内観光をし、そのあと、ヌアヌパリにいきました。ヌアヌパリは、山脈の切れ間にあたる断崖なので、いつも強い風が吹きつけているそうですが、この日は、あまり吹いていませんでした。ここからは、カイルアや、カネオ方面の海岸線を見ることができます。このあたりの海岸線は、ホノルル方面の海岸線と違い比較的なめらかです。（写真1）

次に、ワイキキビーチを歩きました。ワイキキビーチでは、大勢の観光客が、海水浴や、サーフィンを楽しんでいました。

波の穏やかな所には、多くの魚が生息していたのに対して、波の荒い所では、ほとんど生息していませんでした。（写真2）

この日最後に行ったワイキキ水族館では、サンゴなどを見ました。さらに、サンゴには、『きれいな水』や『日光』が必要だということもわかりました。他にも屋外の水槽で、ウニやナマコをさわったり、ハワイにしか生息していない珍しいアザラシ、ハワイアンモンクシールを近くで観察したりと、なかなか出来ないような体験をすることができました。（写真3）

2日日。この日はまず、ダイヤモンド・ヘッドに登りました。ダイヤモンド・ヘッドは、標高232mの、死火山で中心には、クレーターがあります。頂上からは、ワイキキ方面の海岸線が望めます。（写真4）

次に、サンセットビーチに行きました。ここは、世界有数の大波が来ることでも有名です。私達が行ったときも、ものすごい波でした。この波のせいか、辺り一帯の砂が、丸みを帯びていました。（写真5）

この日最後に行った、ビショップ博物館は、複雑な作りでした。ハワイの歴史を知ることができました。（写真6）

3日目。この日は、ハナウマベイに行きシュノーケリングをしました。海の

中には、見たこともないような魚やサンゴがいました。間近で見るサンゴは、意外と地味な色でした。

ハナウマベイは、自然保護区に指定されているので、日焼け止めクリームや、サンオイルなどを塗って入っては、いけないなど、他のビーチよりも厳しいいくつかの規制があります。（写真7）

その後、ハロナ潮吹き穴やサンディビーチを見てから、ハワイ大学研究施設に行きました。ハワイ大学では、マグロや、サメの飼育や研究を行っていました。さらに、珍しいサンゴや、イソギンチャクの飼育なども行われていました。

私は、この3日間の海岸線視察に、参加できて本当によかったです。ハワイの海は、とてもきれいで、感動しました。魚も、とてもきれいでした。でも海岸には、他の国から流れてきたゴミなどが、打ち上げられていました。それを見たとき、少し暗い気分になりました。自分たちが何気なく捨てたゴミが、ここまで流れ着く可能性もあるのです。なので、自分の行動に責任を待ちたいです。

最後にこのリサーチを終え、自分の住む町に帰り、川や湖をもう一度見直したいと思います。

今回、貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

B&G 財団 WEB マガジンアンドリー VOL.7
『調査隊』ハワイレポート (風岡 歩さん)



(写真1)
ヌアヌパリ



(写真2)
ワイキキビーチ

B&G 財団 WEB マガジンアンドリー VOL.7
『調査隊』ハワイレポート (風岡 歩さん)



(写真3)
ワイキキ水族館

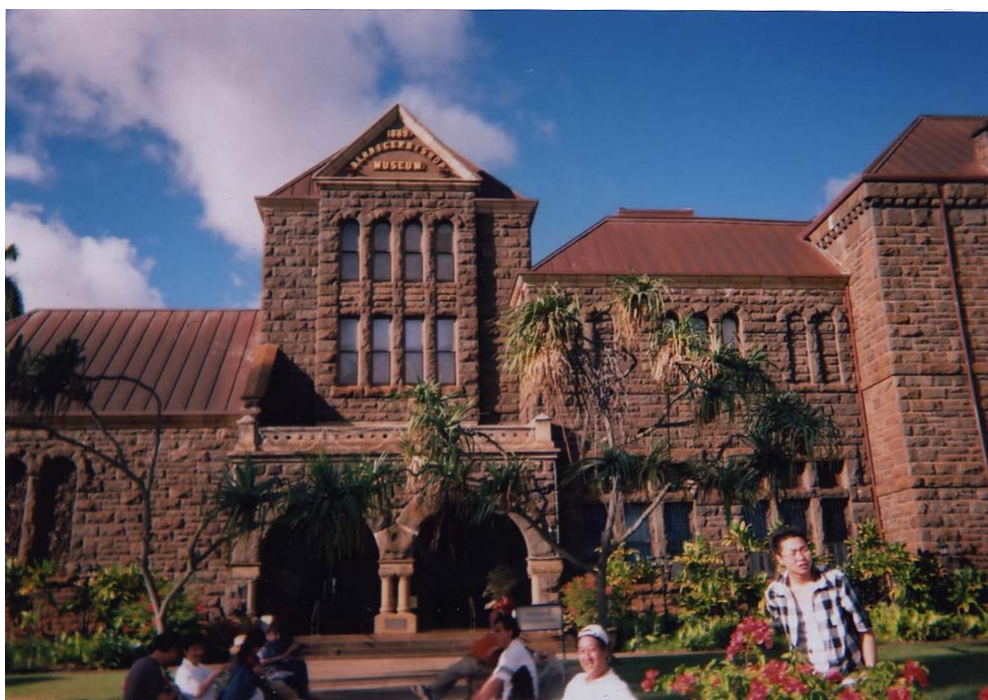


(写真4)
ダイヤモンド・
ヘッド

B&G 財団 WEB マガジンアンドリー VOL.7
『調査隊』ハワイレポート (風岡 歩さん)



(写真5)
サンセット・ビーチ



(写真6)
ビショップ博物館



(写真7)
ハワイ大学研究施設

【保護者の方からのメッセージ（風岡 弘一様）】

前略 先日は、歩をハワイ海岸線調査に参加させていただき、ほんとうにありがとうございました。ハワイも、東京も初体験で心配しておりましたが、とても楽しかったと言って帰ってまいりました。これもスタッフの皆様に親切にいただいたお陰だと、家族一同感謝しております。

今回、この様な有意義な経験をさせていただき、本当にありがとうございました。これから益々、B&G財団が発展されますよう、お祈りしております。

草々